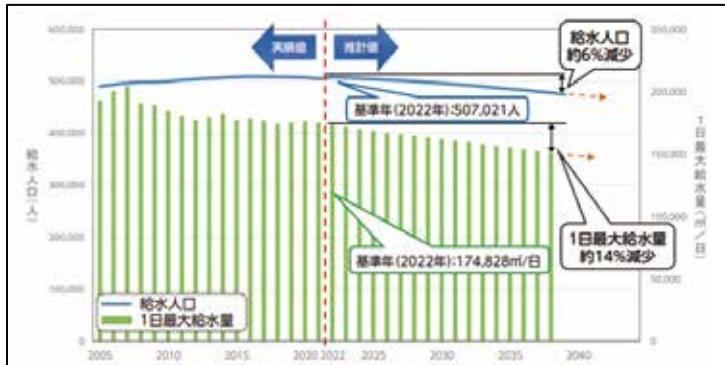


どうなる？ 今後の収入と支出の 見通しについて

市民の皆さまに、本市上下水道事業や経営状況についてご理解いただくために、経営状況をわかりやすくお伝えしていきます。

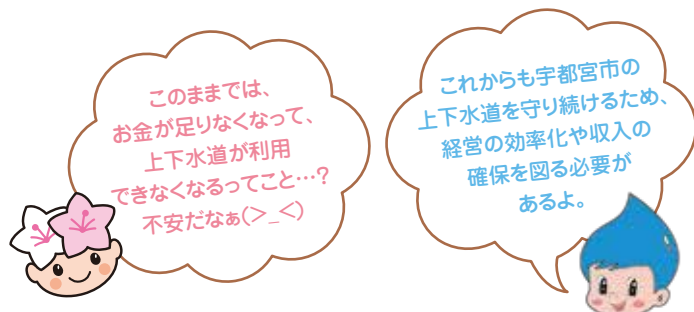
【水需要の推移】



【支出の見通し】

本市の上下水道事業は、通水開始から100年、下水処理開始から50年以上が経過しており、今後は施設や管路の膨大な更新が必要であり、維持更新費用は増大する見通しです。

そのほか、激甚化する自然災害への対応や脱炭素社会構築の取り組みなどが求められています。(脱炭素化については、次のページで紹介しています)



問 経営企画課 企画財政広報グループ ☎633-3230

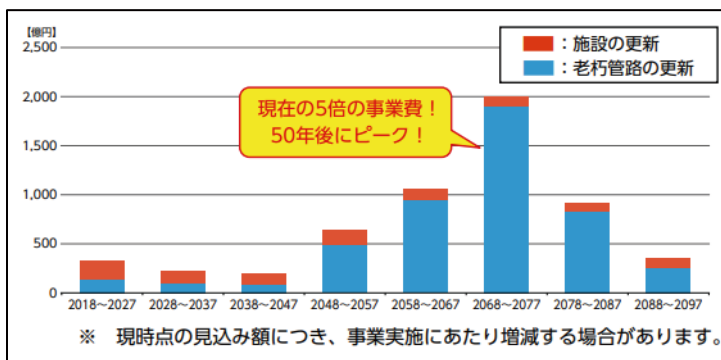
【収入の見通し】

本市の人口は、2017年をピークに減少に転じており、2029年には50万人を下回る見通しとなっています。

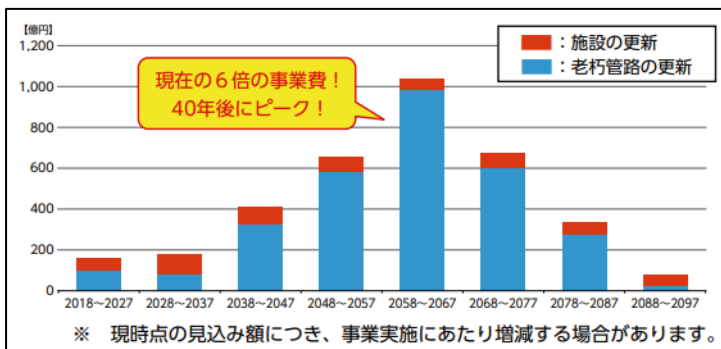
さらに、節水機器の普及や、ライフスタイルの変化に伴う水道水の使用状況の変化等により、使用水量は減少傾向にあり、上下水道料金収入の減少が見込まれています。

今後の施設・管路更新の資金需要の見込み

【水道事業】



【下水道事業】



雨水と上手に暮らそう！

宇都宮市では、台風などによる浸水被害や河川氾濫を軽減するため、市街化区域(一部対象外あり)に雨水貯留・浸透施設を設置する方を対象に補助金制度が適用されます。設置費の3分の2(上限あり)を補助します。補助金の上限や設置の条件などについては、下記にお問合せいただくか、ホームページをご覧ください。

例) 貯留タンク(100~300L未満): 上限40,000円/基

浸透ます: 上限30,000円/基

浸透性アスファルト舗装(300㎡まで): 上限900円/㎡



浸透ます



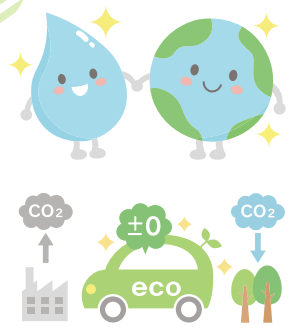
貯留タンク

局HPでは、設置した方へのアンケート調査結果を掲載しています。設置を検討している方は、ぜひ参考にご覧ください。
また、「設置者の声」を募集中です。設置した皆さまの感想やご意見をたくさんお聞かせください。

宇都宮市 雨水貯留 検索

問 工事受付センター 接続工事受付グループ ☎633-3164

カーボンニュートラルの取組

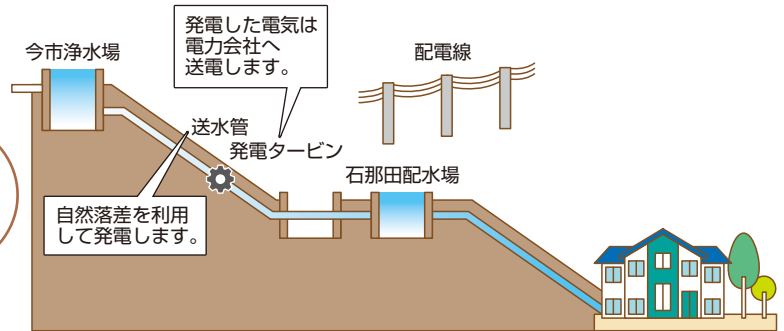


上下水道局では、これまでにLED照明などの省エネ性能の高い設備や太陽光発電設備、電気自動車などの導入に加え、上下水道施設特有の小水力発電設備や下水汚泥消化ガス発電設備を導入するなど、カーボンニュートラルの実現に向けた取組を行ってきました。

2023年度末時点では基準となる2013年度と比較し、温室効果ガス排出量を20%以上削減しています。

今後も省エネ性能の高い設備を導入するほか、太陽光発電設備の導入拡大を行うなど、更なる温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいきます。

カーボンニュートラルとは
温室効果ガスの排出量を全体として
ゼロとするというもの。
その実現に向けては、宇都宮市では
温室効果ガス排出量を2030年度までに、
2013年度と比べて約50%削減する
ことを目指しているんだよ。
上下水道局でもその目標に向けて
様々な取組を行っているよ。



小水力発電設備（今市送水管）

- 水道水が流れ落ちる力を利用して発電
- 年間で約20万kWh（一般家庭の約50世帯分）を発電し、約80トンの二酸化炭素を削減



下水汚泥消化ガス発電設備（川田水再生センター）

- 下水汚泥の処理過程で発生するメタンガスを活用して発電
- 年間で約690万kWh（一般家庭の約1,700世帯分）を発電し、約2,800トンの二酸化炭素を削減



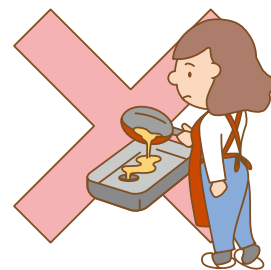
太陽光発電設備（松田新田浄水場）

- 年間で約20万kWh（一般家庭の約50世帯分）を発電し、約80トンの二酸化炭素を削減

下水道等※をご使用になる皆さまへのお願い

油や紙おむつなどを流すと、下水道管の詰まりや悪臭の原因となります。また、ガソリン・シンナー・灯油・アルコール類などの危険物を流すことは、火災につながる可能性があり、とても危険です。それぞれ、決められた方法で処分しましょう。

下水道に流された水は、
水再生センターで処理されて
河川に戻るよ。
一人ひとりの取組で、
きれいな河川を
守ってこう！



局HPから詳しい情報がご覧になれます。

問 水質管理課 計画指導グループ ☎633-2001

※下水道等:公共下水道、地域下水道、農業集落排水施設、浄化槽



▲詳しくは
こちら